

東北地方 1か月予報

(11月14日から12月13日までの天候見通し)

平成21年11月13日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

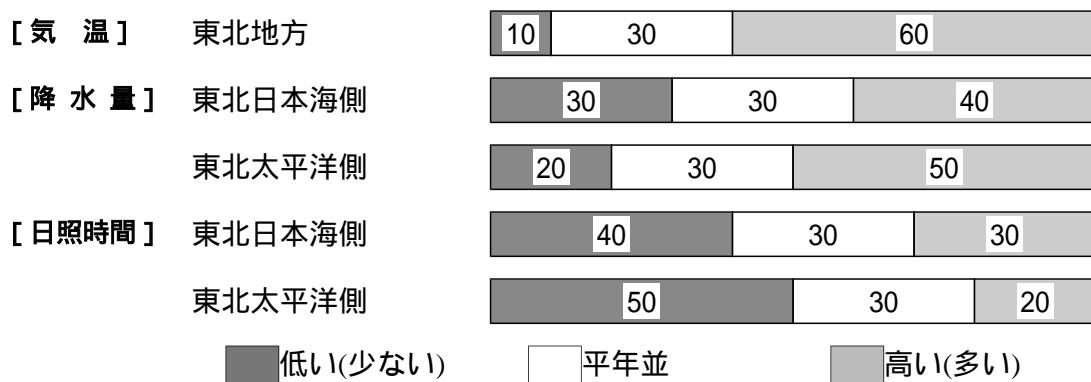
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

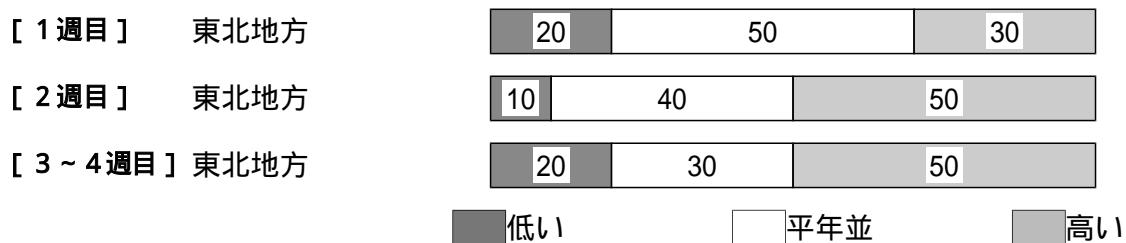
向こう1か月の平均気温は高い確率が60%です。降水量は東北太平洋側で多い確率が50%です。日照時間は東北太平洋側で少ない確率が50%です。

週別の平均気温は、1週目は平年並の確率が50%、2週目は高い確率が50%、3~4週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 11月14日(土)~12月13日(日)
1週目 : 11月14日(土)~11月20日(金)
2週目 : 11月21日(土)~11月27日(金)
3~4週目 : 11月28日(土)~12月11日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は11月20日
3か月予報:11月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	4.0	140.7	67.4	6.1	4.8	2.9
深浦	5.1	150.6	47.5	7.1	5.8	4.0
むつ	3.9	112.4	83.6	5.9	4.7	2.8
八戸	4.3	51.6	126.4	6.3	5.0	3.2
秋田	5.3	188.8	60.4	7.3	6.0	4.3
盛岡	3.3	84.7	103.4	5.3	4.0	2.3
大船渡	6.0	74.4	133.3	7.9	6.6	5.0
宮古	5.6	66.3	143.9	7.5	6.2	4.6
仙台	6.9	45.1	136.7	8.8	7.5	5.8
石巻	6.0	44.5	145.4	8.0	6.6	4.9
山形	4.9	79.4	86.9	6.9	5.5	3.9
新庄	4.0	205.3	45.3	6.0	4.7	3.0
酒田	6.8	233.9	56.3	8.7	7.4	5.8
福島	6.7	48.1	125.5	8.7	7.3	5.6
若松	4.5	79.4	76.0	6.7	5.2	3.4
白河	5.3	48.7	149.8	7.3	5.9	4.2
小名浜	8.5	68.0	168.1	10.5	9.2	7.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.7	81 ~ 105	97 ~ 105
東北日本海側	-0.7 ~ +0.7	89 ~ 107	94 ~ 106
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.7	65 ~ 104	95 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年11月13日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(11月14日～12月13日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。

1週目(11月14日～11月20日)：

低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、東北北部では雪の降るところがあるでしょう。東北太平洋側では、期間のはじめと終わりは晴れるところがある見込みです。なお、期間のはじめと中頃は低気圧の影響で荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は平年並の確率が50%です。

2週目(11月21日～11月27日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

3～4週目(11月28日～12月11日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

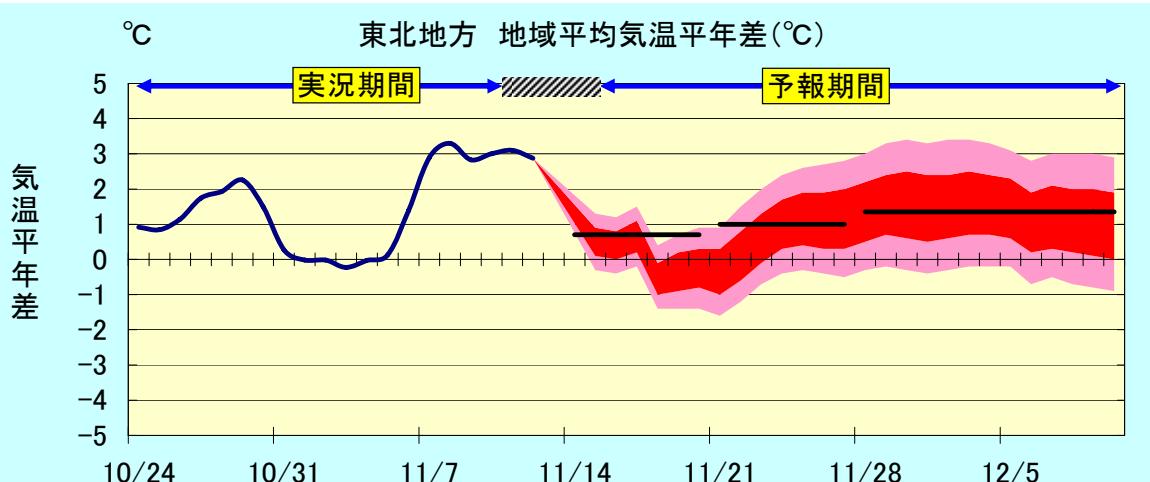
平均気温は高い確率が50%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	6.1日	1.9日	1.7日	2.5日
東北太平洋側	16.2日	3.9日	4.2日	8.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3～4週目とともに平年を上回る予想となっている。



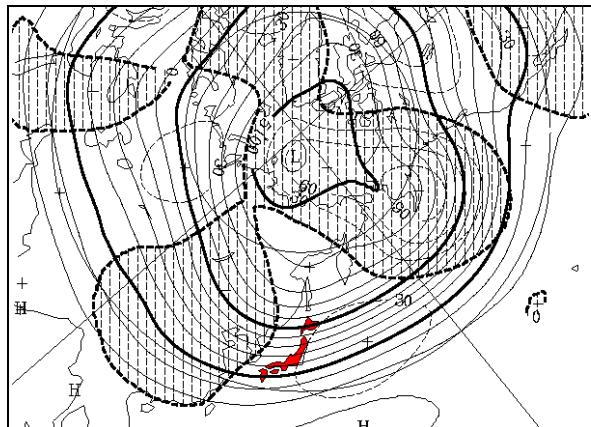
- ・グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・予報期間には7日間平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示。
- ・水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定してないため、観測値と予測値に基づいて結んでいます。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は日本のはるか東に中心を持つ正偏差におおわれる。朝鮮半島から西は負偏差で、日本付近は西谷傾向。南よりの暖かい空気が入りやすく、高温が予想される。

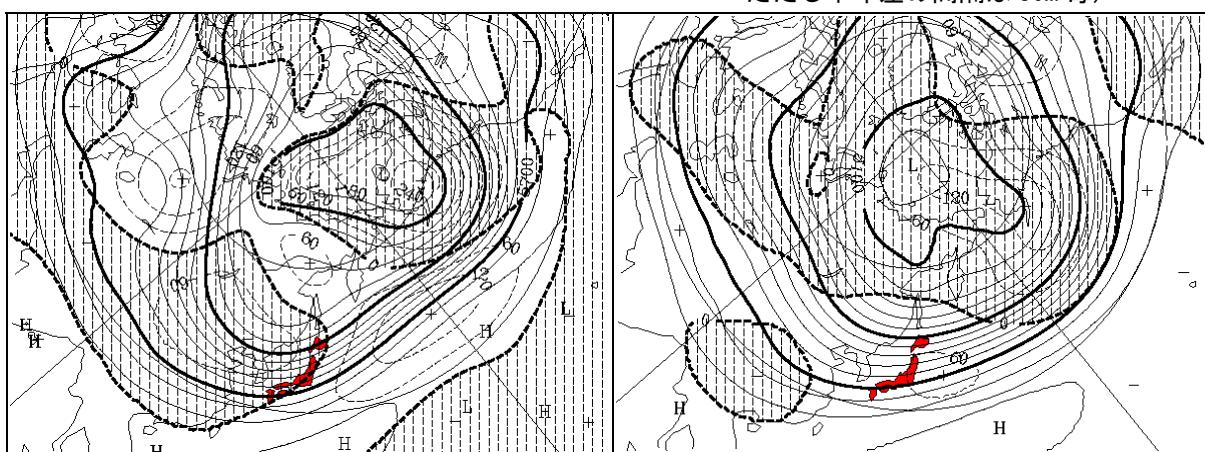
1週目: 日付変更線付近を中心に正偏差が広がる。東北地方は中国東北区を中心を持つ負偏差におおわれるが、偏差は小さい。気温は平年並の予想だが、一時寒気の影響が見込まれる。

2週目: 日本付近は日本東に中心を持つ正偏差におおわれる。850hPa 気温予想図(図略)でも正偏差で高温が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

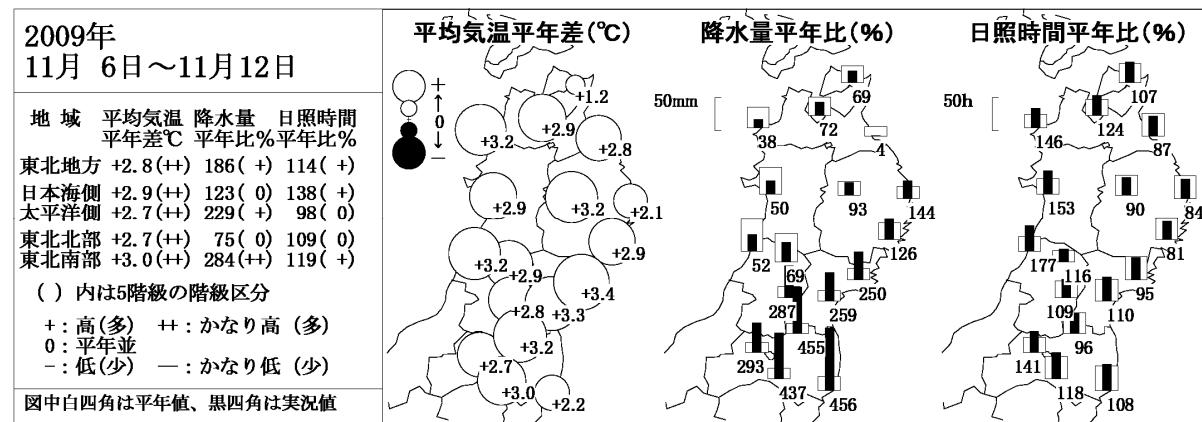
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (11月6日～11月12日) の天候の経過

この期間、高気圧におおわれ晴れる日が多かったが、9日は寒冷前線の影響で東北日本海側で雨となり、11日は低気圧が日本の南岸から三陸沖を北東進した影響で東北南部を中心に大雨となったところがあった。南から暖かい空気が入りやすい状態が続き、気温はかなり高くなった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)